

『非認知能力を伸ばす乳児保育、 見守る保育（藤森メソッド）の環境づくり』

JAKUETS × 藤森メソッド

AI（人工知能）が進化していく時代では、現在ある仕事の約半数がなくなると言われています。成績や学力といった「見える学力」だけでなく、何かが起こったときに自分の頭で考えて行動できる「見えない学力」＝「非認知能力」を伸ばすことが求められています。

非認知能力を伸ばす乳幼児教育である「見守る保育(藤森メソッド)」の考えを基に、子どもの主体性を育む環境づくりについて講演していただきます。

2023年 12 月 21 日（木）

a.m.11：00～12：00

受講料： 3,300円（税込）

セミナー会場： 名古屋国際会議場

定員： 30名



乳幼児教育家

藤森平司／Fujimori Heiji

認定こども園 新宮せいが子ども園 園長

保育環境研究所ギビングツリー 代表

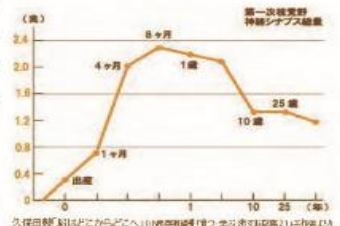
乳幼児STEM 保育研究会 理事長

大学で建築学を学び、その後小学校教諭、保育園園長、子ども園園長の実践を経て、これからの時代に必要とされる質の高い保育・教育を目指し、「見守る保育 藤森メソッド」を提唱する。欧米、アジア各国の保育施設を歴訪し、さらにメソッドを深める。また、中国、韓国、シンガポール、ドイツなどで講演。ドイツ バイエルン州 ミュンヘン教育局に15年にわたって訪問し、乳幼児教育についての情報交換を行う。現在、国内で500園あまり、海外で170園が「藤森メソッド」を取り入れている。

なぜ乳児期からの「見守る保育」が必要なのか？

脳の発達において、赤ちゃんは白紙の状態生まれるのだと信じられてきましたが、脳内で情報伝達を司るシナプスの数は赤ちゃんの段階（8か月～1歳頃）がピークであり、その後は減少していきます。

そこで、シナプスが形成される乳幼児期に「非認知能力を育む」ことができる「見守る保育」が必要なのです。



子どもたちの未来を支える 新たな道を切り拓くセミナー

01

2023年 12月19日（火） a.m.11:00～11:30

魅力ある施設（園）づくりに必要不可欠なもの～ブランディングの重要性

ジャクエツ マネジメントサポート専門営業 課長 牧野 宏章

少子化や保育業界の変化が進む現代において、ブランディングは極めて重要なものになります。“魅力ある施設（園）づくりのために独自のアイデンティティと価値を活かし、地域社会を含めたすべての人に魅力を伝える魔法の鍵です。一貫性と認知度を高めながら、競合から際立つ存在になるために、その必要性和事例を交えてご紹介いたします。すべては、魅力的なブランディングから始まります。

02

2023年 12月19日（火） p.m.3:00～3:30

遊びの空間が生み出す地域の活性化

ジャクエツ パブリックスペース専門営業 係長 山本 久徳

今、地域におけるあそび場が大きな変化の時期にあります。子供のためだけではなく、地域に暮らす多様な人々が関わり、活性化を生み出す事例も数多くみられます。美術館、公園、室内あそび場など多様なあそび場の事例を題材にその施設が地域に与えた効果についてお話致します。

03

2023年 12月20日（水） p.m.1:00～1:30

療育事業を通した社会貢献～地域になくてはならない施設づくり

ジャクエツ マネジメントサポート専門営業 課長 牧野 宏章

超少子化の状況において、療育を必要としている8割の子どもが施設を利用できていない現状があり、子どもだけでなく、保護者への支援も含む社会に貢献していく事業として注目を集めております。園と発達支援のスタッフが共に成長する「インクルーシブ保育」の実現にむけて、児童発達支援事業所の概要、開設条件と必要な資格、職員配置などについての情報を提供致します。

今回の展示会では、ジャクエツ社員によるセミナーを開催致します。

それぞれのテーマにおいて、皆様の課題解決や事業発展に貢献できれば幸いです。

※当セミナーは定員制です。定員に達した場合、お申込みをお断りさせていただく場合がございます。